

工場主ハ依然工場ヲ閉鎖シ斎藤某ナル者留守居ノ為メ起臥シ
居ルノミニ三月二十五日川口町會議員奥金川口又部長大木
武雄直接交渉シ未レルモ事業主側代表森謙一ハ曩ニ當所調停
課ニ於テ申立タルト同様爭議團加入ノ四名ニ對シ金拾拾月ヲ
支給スルノ外如何トモ詮方ナシト固持シテ譲ラズ不調ニ終シ
リ

二、勞働者側

爭議團本部ハ存置スルモ氣勢揚ラス爭議ニ加リタル八名中逐
次其數減少シ單獨解決セルモノ既ニ四名ニシテ残り四名アル
ノミ爭議指導者阿部巳與平モ爭議指導ヲ断念シ前記ノ如ク大
木武雄直接工場主側ト交渉シタルモ不調ニ終リ現在ハ何等ノ
特異行動ナラズ只別記ノ如ク印刷物ヲ附近ニ配布シ對峙シ居ル
状況ナリ

右及申(通)報候也

(別記)

親愛なる所民諸兄ノ同情ト訴ふ

北豊島郡金ヶ原諸君ヨリ冷簀小枝進の経営する豊島町小枝鑛物工場は終
懐子一回の詰りなく、一月の午多も出さず解雇首切を言渡して工場鎖閉をした、鬼
の如き小枝進工場主に對し我々は再三、再四、復讐を嘆願したが聽き入るゝるなり、斯
くの如き立場になりたる勞働者は最後の午飯たる爭議を敢行した。然し前代未
聞の殺人的不況の爲め他は機を求めんとするも、機場なく家族十五人を持つ吾々
國負は六十日向大宇通りの苦劇、苦痛を續け来た。 早く最我々爭議團負の
家庭は家具着物を賣リ拂ひ、子供は皆一足の下駄もなく、素足で遊ばす所の
子供達から菓子を貰ひ三度の飢を凌ぐ有様である、又病床の父親に看護
薬も欠ける事の出来ない、窮狀に落ち込んや父子孫無情なる小枝進工場主
の爲めた日一日と死の淵に追込られ、今や飢餓に苦しむア死線をさまざつ
てゐるのではありません。

かかる有様なる救吾々は工場主ク及有をホメると同時に同情ある金豊
島郡大衆に訴へ行商による吾々の救済をお願ひする次第でありませぬ。